羽ばたこう 立志の丘から

学校通信

平成27年8月24日 No.16

夏休み終了 元気な声が校舎に響く 空手全国3位! 平和レポーター・コロンブスの卵 研修 参加

約1か月の夏休みが終わりました。今日から、 校舎に元気な声が響いています。

8月2日、大分県別府市で行われた「第41回剛柔会全日本空手道選手権大会」で、本校3年生阿部君が、堂々の第3位入賞を果たしました。

阿部君は、「全国大会では、 全国の強化指定選手等とも 競い合うなど、すばらしい 体験ができた」と語ってお ります。道を究めるという ことは、どんなことでもた



いへんなことであり、また、得るものが多いこと と思います。阿部君の全国大会入賞、夏の大きな 財産獲得を、心からお祝い申し上げます。おめで とうございます。

夏休みに入るに当たり、夏休みでなければできないことに挑戦し、心も体も大きく成長させてくださいとお話しましたが、部活動や駅伝練習、学習相談、そしてボランティア活動等、生徒はそれぞれの夏に挑戦しました。阿部君のように全国大会での入賞もすばらしい体験です。

また、2年生の鈴木さんは7月28日から30日にかけて、核兵器廃絶と恒久平和への願いを後世に伝えていくため、大仙市内在住の中学生・高校生を「非核平和レポーター」に任命し、被爆地である広島に派遣する市の事業に参加して、広島県において平和学習を進めてきました。10月1日には、その学習成果を発表する機会もあるようです。

また、同じく2年生の佐藤さんは、市教育委員会派遣の「コロンブスの卵わくわくサイエンス事業」に参加し、首都圏の理化学研究所や千葉大学医学部において研修を積んできました。理数系の強化を図る研修の一環ですが、本人はたいへん刺激になったと感想を述べておりました。こちらも後で報告書がまとめられるようです。楽しみにしております。

それぞれの夏、学び、遊び、心も体も鍛えた西 仙北中生です。

夏休み中も大活躍

7月25日・26日、大雨の中でしたが、大館市長根山運動公園陸上競技場において、第61回全日本中学校通信陸上競技大会秋田県大会が開催されました。

本校では、女子さんが出場のでは、田大郎出場のでは、田大郎出場の記べる。 を関係をはいるでは、田大郎には、田大郎出場のでは、記録のでは、記録のでは、という活躍でした。 は、田大郎のでは、田田のでは、大学のでは、田田ののでは、田田ののでは、田田のでは、田田のでは、田田のでは、田田ののでは、田田ののでは、田田ののでは、田田のでは、田田ののではのは、田田ののでは、田田ののでは、田田ののでは、田田ののでは、田田ののでは、田田ののでは、田田ののでは、田田ののでは、田田ののでは、田田ののでは、田田ののでは、田田ののでは、田田ののでは、田田ののでは、田田ののではのは、田田ののでは、田田ののでは、田田ののはのはのは、田田ののでは、田田ののでは、田田ののではのはのは、田田ののでは、田田ののではは、田田ののではのは、田田ののではは、田田ののははは、田田ののではは、田田ののでははは、田田ののではは、田田ののではははのははは、田田ののでははははは、田田ののではははの



また、女子四種競技に出場した熊谷さんは、100MH予選3組のトップで通過、走り高跳び、砲丸投げ、<math>200Mに臨み健闘しました。

共通女子400Mリレーに出場した、高橋さん、 斎藤さん、熊谷さん、佐々木さんは、鍛え上げた 見事なバトンリレーでしたが、惜しくも予選通過 はなりませんでした。男子で唯一出場した斎藤君 は、1年1500Mでタイムレース2組において、 第一位でした。今後の活躍が期待されます。

大会2日目、女子走り幅跳びに出場した佐々木 さんが、自己ベスト記録を更新、見事8位入賞を 果たしました。おめでとうございます。

なお、7月26日、潟上市で行われたJOCジュニアオリンピックカップ 第34回全日本ジュニアバドミントン選手権大会に、本校から3年生の伊藤・正木ペア、大木・渡部ペアをはじめ2年生も出場し、高校生ペアに勝利するなど、それぞれ健闘しておりました。

各部とも毎日の練習に加え、練習試合をこなし、 野球部はサマーリーグ、バレーボール部はこけし 杯予選などにも出場しました。暑い夏を鍛え上げ た選手たちです。

7/27 早朝ボランティア実施

7月27日は、 雨のため順延に なっていた早朝 ボランティア、 地域のゴミ拾い を実施しました。

日頃お世話に なっている地域 への感謝の気持



ちを行動で現そうという生徒会企画で、朝7時から、大佐沢公園、西仙北支所、西仙北図書館、西仙北スポーツセンター、西仙北小学校、西仙北中学校の各周辺や通学路、またスクールバス通学生は、自宅からバス停留所前までにおいて、ゴミ拾いを実施しました。

小・中連携事業の一つとしての企画でしたが、 順延となったため、今回は小学生の参加は一部に 限られました。

空き缶やたばこの吸い殻などが、結構落ちていました。まずは、ゴミを捨てない地域づくりを実践していきたいものです。児童・生徒の皆さん、お疲れ様でした。

「教えることは学ぶこと」



半生1も会まれて夏はに・学がしと、休、加2習行た並西み3て年相わ。行仙前年、生談れこし北

小学校で行われる学習相談会に中学生の応援をいただけないかという要請があり、2年生の希望者がお手伝いに行きました。小学校の学習相談会には、学校支援地域本部事業の支援員の方々も来校して子どもたちの学習を支援しておりました。

「教えることは学ぶこと」、小学生の学習を振り返ることと、教えてみることにより、自分の学習成果を確認できることは、「分からないことが分かる」という、学習において最も大事な点が明らかになります。

そして、何よりも、小学生に「あんな中学生になりたい」という憧れをもたれる存在になることが、 日本人が希薄といわれる自尊感情や自己有用感を 高めてくれるものとも考えます。



また、3年生、3年生、3年生、3年生、1年間立の大学の大学の大学では、できまれて、1年まれた。ではまれた。近時は地域では、1年の大学には、

は、小・中・高の連携を図るということで、西仙 北小学校長、西仙北中学校長、西仙北高等学校長、 そして西仙北支所長、課長、西仙北中央公民館長 等で、西仙北地区校長会を組織して、連携を図っ ており、その一環として、また、西仙北高等学校 長様のお計らいによって、高校の先生による中学 校での学習相談を行っております。 高校の先生方による専門的な指導・学習問題の解説により、レベルアップが図られた3年生です。 西仙北高校の先生方、たいへん暑い中、丁寧なご 指導をいただき本当にありがとうございました。 今後ともよろしくお願いいたします。

「美術の時間展 Vol.4」

7月28日(火)~8月20日(木)の期間、秋田県立近代美術館5階ふれんどりーギャラリーにて「美術の時間展 Vol.4」が開催されました。美術の授業での学びを、授業のねらいや生徒の制作風景、アイデアスケッチや作品、作品へのコメントから読み取ってもらおうと企画したものです。



田沢湖駅伝に向けて



くから陸上競技場やロードで練習に励んでいます。 大会に向けて、夏休み中には保護者の方々のご 協力も得ながら試走を何回か行ってきました。それぞれ生徒は目標タイムをもって試走に臨んでお ります。例年になく暑い夏です。体調管理に努め、 大会に臨めるようにしてほしいと願っております。 応援よろしくお願いいたします。

なお、試走に行った際には、集合場所として利 用させていただいた西木の直売所の方々から、昨



サマーボランティア コンサート

夏休み期間中、吹奏楽部が、保護者会の支援のもと、地域貢献の一つとして、日頃からお世話になったり、1・2年生の職場訪問や職場体験等でご指導をいただいたりしている地域内にある福祉施設等で、管理者様のご了解を得て、サマーボランティアコンサートとして演奏会を開催しました。



8月6日は、「障がい者支援施設 柏の郷」で午 前中、「福祉エリアありす刈和野」で午後からコン サートを行いました。部員は「演奏の機会をいた だきありがとうございます」と、あいさつして、 震災復興の願いを込めた曲「花は咲く」をオープニ ングに演奏を始めました。次に、「宮川 泰(ひろ し) ミュージックホリディ」と題して、昭和50年 代のザ・ピーナッツやシャボン玉ホリディなどの 曲のメドレー、松田聖子や寺尾聰などの昭和60 年代のヒット曲のメドレー、そして、NHKの朝 の連続ドラマの「マッサン」や「あまちゃん」な どの主題歌を演奏し、入居者や職員の方々に喜ん でいただきました。演奏を聴いていただいた方々 を代表しての丁寧なお礼もありました。また、拍 手とともに、「また来てください」という声が何度 も聞かれました。うれしいことです。

「特別養護老人ホームウォームハート」には8月7日、「介護老人保健施設幸寿園」には8月8日に訪問、演奏しました。

生徒にとっては、これも夏休みでなければできない貴重な体験となりました。ありがとうございました。

食育教室に参加

8月10日、バドミントン部10名が食育教室 ~食育を通じて自分の健康を守ろう~に参加しま した。大仙市食生活改善推進協議会 西仙北支部の 主催で、高齢者ふれあいセンターで行いました。 調理実習、野菜ものしりゲーム、「食事バランスに ついて」の講話という内容でした。

当日のメニューは、トマトパスタ、豆乳味噌汁、 ヨーグルトサラダの三品です。まずは野菜を切る ところから。 普段包丁を持たない男子も恐る恐る野菜を切り、料理に応じて様々な切り方を学びました。四名の先生方に教わりながら、調理の手順を確認しテキパキ? とこなしていました。女子チームは料理姿が様になっていました。いつも家で手伝っていることでしょう。講師の先生方のさすがのご指導で、あっと言う間に完成です! どうでしょうか?

午後は、野 菜物知りゲー ム! 大仙市



などの野菜カードを春夏秋冬に分けるゲームを行いました。好きな野菜を選び、使われている料理名を挙げ、自己紹介しました。1日の野菜摂取量350グラムを調整するゲームは、みんなで話し合いながら進めました。

食生活とスポーツマンとのチェック表では、まだまだ理想的な食生活をしている生徒は少なく、 今後の課題も見つかりました。身体を鍛えること も必要ですが、身体の内側から健康にならなくて は、ここぞという時に力を発揮できない、という ことになるそうです。

毎日、何気なく摂っている食事ですが、自分の体をつくる大切なことだというお話をいただきました。大会でよい成績を残したいなら、まずは食生活から改善を! 部員全員真剣に聴いていました。今回このような機会をいただきありがとうございました。これからの生活に生かしていきたいと思います。

初めての公式戦

8月12日、新人戦のこけし杯予選大会が、本 校体育館で行われ、本校バレーボール部が初めて の公式戦に臨みました。3年生が引退し、たいへ ん若いチームとなった本校ですが、基本のレシー

で 戦機の でび が はの はの はの はの はい で で で で が は の さ の ま の ま の ま の ま の は の は の は の は の は の は の は れ に の も の は し に の も の は の は の は の は の は の に の は の に の は の は の は の に の は の に る に る に る に る に 。 に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る に る 。 に 。 に 。 に る に 。 。 。



ふるさと西仙まつり 吹奏楽出演!

8月15日、「ふるさと西仙まつり」が西仙北支 所周辺で開催されてましたが、吹奏楽部のみなさ んが多くの市民の前ですばらしい演奏を披露しま した。

「ふるさと西仙 ふれあいコンサート」は、西仙 北支所の駐車場を会場に、大型トラックの荷台を 利用したステージで行われました。

はじめに、西仙北小学校の児童を中心にした「西仙北太鼓の会・刈和野大綱太鼓ジュニア」による「刈和野大綱太鼓」「流鏑馬」「刈和野太鼓激戦」などの迫力ある演奏がされました。



そして、本校吹奏楽部は、鮮やかな帽子をかぶった演奏者が入場して「聖者の行進」を演奏、名司会者の二人の進行で、「OLA!!」「エル・クンバンチェロ」が演奏されました。

最後は西仙北高等学校吹奏楽部との合同演奏で、「アメリカン・グラフィティ」「ヒットソング・プレイバック'80」「祭り~YAGIBUSHI Brass Rock」が披露されました。曲の途中では、顧問の藤澤先生のプロの演奏もありました。感動ものです。

会場かるに、といっては、大きないのでは、いった、したのでは、したのは、ないのでは、ないのでは、ないのは、ないのでは、ない



生徒たちにとって、また、一つ夏の思い出がで きました。

なお、会場には、大仙市のマスコット、まるび ちゃんも応援にきてくれておりました。屋台も賑 やかにでており、この後は、大曲の花火の前哨戦 となる花火大会や生徒たちの作製した「絵灯ろう」 流しも行われました。

ゆく夏を惜しむ一日でした。

亀田街道・雄清水まつり

8月2日、「亀田街道・雄清水まつり」が、大沢 郷地区宿で行われました。

旧亀田街道は、松ヶ崎(現由利本荘市松ヶ崎)から亀田(現由利本荘市岩城亀田)を経て刈和野

(現大仙市刈和野) へ通じ、羽州街道へと通ずる

旧街道であります。



和野街道」とも呼ばれていました。

当時の亀田領(西仙北地域北野目・江原田・木売沢・円行寺地区など)の人々は、必要な買い物などは全てを亀田城下町で行わなければならなかったため、この街道が頻繁に利用されていたそうです。現在旧道は約1.3kmが残っており、御番所跡や両側の杉並木が当時の面影を残しています。

亀田街道まつりは、亀田街道(旧西仙北町指定 史跡)の往事を偲ぼうと亀田街道実行委員会が毎 年行っていたそうです。「亀田街道を守る会」は、 地元大沢郷の人々が旧亀田街道を後世に残そうと いう思いから設立され、旧街道がこれほどよく保



存されている例は、県内にも他にないといわれているそうです。

なお、徳川家康の側近筆頭であった宇都宮城主本多正純・正勝父子が、元和9年の冬季中当地で看守されたという史実もあります。

また、雄清水・雌清水(osizu-mesizu)は、大沢郷宿の入り口にあり、毎分500リットルの清水が湧きだし、その温度は夏・冬11.5℃で変わることがないといわれており、昔から枯渇することなく清冽な水が湧出し、延命の水として言い伝えられているそうです。清酒「大綱の響」の仕込み水としても有名ですが、この清水を守ってきたお祭りと、亀田街道まつりが昨年から統合して行われ、今年は「亀田街道・雄清水まつり」として開催されたということです。

地域の伝統行事や文化を守ることが、地方創生 の考え方の第一歩ともいえるものではないでしょ うか。